



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yabe/>

令和 6年 4月30日

5月号

横浜市立矢部小学校
校長 山口 恭史

活気あふれる矢部小学校

副校長 藤田 敏明

この4月に矢部小学校に副校長として着任しました藤田敏明と申します。これからよろしくお願いいたします。

新年度初日の4月1日から、学校では、8日の始業式に向けて、また入学式に向けての準備が始まります。新年度には職員の体制が大きく変わるため、小さな混乱はつきものです。そのため、確認に時間がかかったり、作業が止まってしまったりすることもよく起こります。

もちろん本校の4月1日も、大忙しでした。職員室の机の移動から始まり、さまざまな引継ぎ、作業。目の回るような忙しさです。全体で行う会議や多くの作業を行う中、本校では、一人ひとり、また部署ごとに大切な仕事を順序だてて、初日からきびきびと動いている様子が見られました。そして、あわただしく、忙しい中でも多くの笑顔で仕事をし、活気あふれる会話が職員室のあちらこちらで見られる様子は、私が今までの学校であまり見たことのないものでした。

新年度が始まり、児童の学校での学習・生活の様子も、職員室で見る職員同様、笑顔で楽しそうに学習し、話し合い活動などでは、活気ある活動をしている様子を見ることができます。

そんな学校の様子について、PTAの会合や、先日行われた「きずな」総会でもお話しさせていただきました。

矢部小の「活気」の原動力は、どこからきているのだろうか。

まだ本校に来てから一か月しかたっていない私には、自信をもって答えられる解答は見つかりません。学校長を軸として各部署、各分掌で、一人ひとりの得意分野を生かし、のびのびと仕事に取り組む雰囲気が、教職員の活気を生む原動力になっているのからではないか。保護者の皆さんと学校とのよい関係が築かれていて、各家庭から子どもを安心して学校に通わせることができているからではないか。そして、先日、総会に参加させていただいた「きずな」、「わかぎ」のボランティアの方々の支援を基盤として行われるさまざまな活動が、充実した体験的活動につながっていて、これらすべての活動が矢部小学校の学校づくりに好循環を生み出しているのではないかと考えています。

学校の教育活動を支え、応援してくださる保護者、地域の皆様と、学校教職員がお互いをよりよく理解し、協力できる関係を深めていくことで、今後、より矢部小が活気あふれる学校になっていくのではないかと考えています。この矢部小学校のよい環境を高めていけるよう、副校長として職務に励んでいきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。